

お知らせ

2024年1月10日

制吐剤適正使用ガイドライン第3版の発行に伴い、当院の制吐療法の見直しを行うことになりました。診療科毎に順次、変更していく予定です。

主な変更点

- ・NK1受容体拮抗剤は注射薬に統一
注射薬を使用する場合はNK1受容体拮抗剤の内服薬の院外処方不要になります
(ただし、抗がん剤を連続して使用する一部のレジメンについては内服薬を使用)
- ・高度催吐性レジメンにおいてオランザピンの使用を考慮
- ・中等度催吐性レジメンでDEXを使用する場合の使用日数を2日間に変更
詳細は個々のレジメンシートをご参照ください。

2023年2月1日

連携充実加算対象レジメンの追加を行います。

- ・乳腺外科で周術期に行うレジメン
- ・血液内科のリツキシマブ、オビヌツズマブを含むレジメン

2022年3月4日

2021年11月から開始している連携充実加算の対象は以下のレジメン※を実施している患者さんに限定しておりました。治療が対象外のレジメンに変更となった場合、変更時点で連携充実加算を中断しておりましたが、2022年3月1日より対象レジメン以外のレジメンに変更となった場合も継続して連携充実加算を実施していくことと致します。

※対象レジメン

抗EGFR薬を含むレジメン、免疫チェックポイント阻害薬を含むレジメン(単剤は対象外)